

新会 活動報告

発行 京田辺市議会会派・自民一新会 ● 〒610-0393 京田辺市田辺80 京田辺市議会事務局内 TEL.0774 (64) 1380 FAX.0774 (63) 4782



夢ある未来の京田辺をみんなで創ろう

まちの将来像を市民と共有しつつ、誰もがのびのびとくらせるまち、住み良いまちづくりの実現に向け積極的に取り組んでまいります。

大規模なプロジェクトが進行中。喫緊の学校給食センター新築工事に着手。京田辺の玄関口である田辺北地区土地区画整理事業の新市街地整備。国指定史跡となった天理山古墳群の観光名所としての整備。可燃ごみ広域処理施設の完成に向けた整備。自然災害に向けた危機管理体制の強化、治水漏水被害に向け新田辺排水機場・新西浜樋門の整備。学校施設整備の拡充、避難場所となる施設の洋式トイレの増設、停電に対応した発電蓄電設備の設置、随時空調関係も整備。国道307号線の渋滞緩和策として、大住草内線の新設道路整備に尽力。地域の活性化、企業誘致と雇用の創出。自主財源確保及び国府から交付金・補助金の財源確保に努めます。

市議会議長
松村博司



昨年の暮れからコロナウイルス第8波の波が押し寄せ懸念いたしておりますが、今年は皆様にとってより良い年になりますように心からお祈りいたします。

共生社会の実現 「心のバリアフリー」の意識をもって助け合い、誰もが明るく・楽しく・元氣よく暮らせる共生社会の「まち」となるように取り組みます。

渋滞緩和策 都市計画道路大住草内線、松井大住線の事業化及び山手幹線道路4車線化を目指し取り組みます。

この街で暮らしたい 人と自然と産業が共生できる町づくりを目指し、地場産業への支援や企業誘致策を促進し雇用を増やし自主財源確保や次世代へ農業従事者の担い手確保に取り組みます。市民と市政のパイプ役として「京田辺市に住んで良かった」と思えるように人生を懸け精一杯頑張ります。

監査委員
総務常任委員会委員
田原延行



- ▶健康ヶ丘区 相談役
- ▶北部住民センター運営協議会 前会長
- ▶大住土地区画整理組合 顧問
- ▶松井山手交番連絡協議会 会長
- ▶大住単人舞保存会 特別顧問

「元氣な京田辺を創ろう」

- ▶京田辺市ソフトバレーボール連盟 理事長
- ▶京都府カローリング協会 理事長
- ▶日本ボーイスカウト田辺第一団育成会 会長
- ▶東区開発問題連絡協議会 会長

新型コロナ禍、ロシアによるウクライナ侵襲、急激な円安、物価高騰、地球温暖化、異常気象、頻発する自然災害。悪い出来事を数え上げればきりがありません。しかも昨年の漢字「戦」が現すように戦争が現実味を帯びてきました。しかしワールドカップでの日本チームの美しい「戦」いぶりは、将来のアスリートを夢見て毎日汗を流す子供たちに夢と勇気を与えたことでしょう。



新たな年を迎えて、今年こそは穏やかでいい年になりますようにと願わずにはいられません。皆様が住んでよかったと思える京田辺。終の棲家と思ってもらえる京田辺。常にその想いを胸に抱きながら議員活動を進めてまいります。今年もよろしくお願いいたします。

建設経済常任委員会委員長
議会運営委員会委員
橋本善之



新型コロナは第8波が猛威を振るっていますが、ワクチン接種や飲み薬の承認により重症化率が低下し、ようやく日常生活や経済も長いトンネルに明かりが見えてきました。これまでご苦勞を強いられた市民の皆さんに住みよい京田辺市になるよう全力を尽くして参ります。今年こそ新型コロナの心配も無く、皆様にとって良い年になることを願っております。

また、この4年間一貫して小中学校のトイレの洋式化に取り組み、4年前は43%の洋式化率がようやく75%まで改善することができました。今後も教育環境の充実に取り組んでまいります。

地球温暖化による自然災害が各地で猛威を振るっていますが、いつ起るか分からない災害にもしっかりと対応できるよう体制強化に取り組んでまいります。

文教福祉常任委員会副委員長
予算特別委員会委員長
決算特別委員会委員長
岡嶋一晃



- ▶枚方京田辺環境施設組合議会副議長
- ▶元京田辺市消防団団長 / 日本防災士認定防災士
- ▶草内区協議委員会顧問
- ▶京田辺市社会体育協会 草内支部支部長

繋がる! 繋げる! 「京田辺」

新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き議会運営委員会の委員長、幹事会座長を務めさせていただきます。それぞれ重責を自覚し、日々議員活動に取り組んでまいります。

目まぐるしく変化する社会情勢ではありますが、市民の皆様が今感じられてる課題などに、真摯に向き合い、私がいつも心掛けている「社会的に弱い立場の方々に住みやすい、住み続けられるまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

2023年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げ、私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

2023年もよろしくお願いいたします。

議会運営委員会委員長
会派代表幹事
久保典彦



「まちづくり」から「都市経営」へ 市民の生活と財産を守ります

昨年、京田辺市は市制25周年を迎えました。平成9年に人口54,000人まで増加した田辺町から、71,313人(令和4年12月1日)のまちに、この25年間で大きく成長しました。

しかし、令和12年の75,406人をピークに人口減少に転じると予想されていることから、余裕のある今だからこそ積極的に、交通利便性を活かした拠点への都市機能の集積、持続的に成長・発展していく施策を推進することが求められています。

多様化する今の時代に地方が生き残っていくためには「都市経営」という観点が必要です。会社経営の経験を生かして、コンサルの描くまちづくりではなく、京田辺市のポテンシャルを生かした「まちづくり」を引き続き進めてまいります。

文教福祉常任委員会委員
広報広聴特別委員会委員長
榎本昂輔



- ▶京田辺市生涯学習推進協議会委員
- ▶デジタル庁 デジタル推進委員
- ▶Executive Workers Group CEO
- ▶一般社団法人 全日本晴れ男晴れ女協会 理事長

- ▶自民一新会 幹事
- ▶自民党京田辺支部 幹事長
- ▶京田辺市ソフトバレーボール連盟 理事兼事務局長
- ▶一般社団法人 山城青年会議所 理事長
- ▶京田辺バレーボールアカデミー 代表